

# 学習案内

シラバス

第5学年



鴻巣市立馬室小学校

## 5年生「国語」

### 【第5学年の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	主に学習すること	主な学習のねらい
4	きいて、きいて、きいてみよう 【コラム】インタビューをするとき	◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようになります。
5	見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果	◎事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにします。
6	みんなが過ごしやすい町へ	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにします。
7	作家で広げるわたしたちの読書 カレーライス	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるようになります。
9	たずねびと	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにします。
10	よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるようにします。
11	固有種が教えてくれること 【情報】統計資料の読み方 グラフや表を用いて書こう	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにします。
12	あなたは、どう考える	◎目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにします。
1	想像力のスイッチを入れよう	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにします。
2	この本、おすすめします	◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにします。
3	大造じいさんとガン	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにします。

### 【評価について】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
- (3) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆音読カードを使い、声に出して読む学習を高めています。
- ◆ドリルやプリント、ワークシートを使い、文字を正しく書けるように繰り返し練習します。
- ◆読書タイムや読書週間に、読み聞かせのボランティアの方に協力をいただき、読書を奨励しています。
- ◆漢字が習得できるように、10問ずつの漢字ショートテストや学期ごとに漢字テストを実施しています。
- ◆総合的な学習と結びつけて、「目的や意図に応じて」書くようにしています。

# 5年生「社会」

1	<b>【5学年の目標】</b>
(1)	我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3)	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

月	学習すること	学習のねらい	【評価について】
4	1. わたしたちの国土 世界の中の国土/国土の地形の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界における我が国の位置や領土に関心をもつとともに、地球儀や地図帳で、国土の位置、世界の三大洋と六大陸、主な国と名称と位置を調べ、白地図に記します。</li> </ul>	<p>(1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。</p> <p>(2) 我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>(3) 我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象について、我が国の国土に対する愛情をもち産業の発展を願う国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとして、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</p>
5	低い土地の暮らし/高い土地の暮らし (選択) 国土の気候の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内には地形、気候の条件から見て、特色のある地域があり、人々の暮らしや産業は地形条件に適応した工夫があることがわかるようになります。</li> </ul>	
6	あたたかい土地の暮らし/寒い土地の暮らし (選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には、外国から輸入しているものがあることを理解するようにします。</li> </ul>	
7	2. わたしたちの生活と食料生産 暮らしを支える食料生産 米づくりのさかんな地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の生産が私たちの生活を支えていることに関心をもち、その意味を考えるようにします。</li> </ul>	
9	水産業のさかんな地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の水産業に関心をもち、水産業と自然環境や、水産業が抱える問題を知り、どのような工夫をして、わたしたちの生活を支えているのかを考えるようにします。</li> </ul>	
10	これからの食料生産とわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の食料生産の現状を知り、統計や資料から我が国の食料生産をめぐる問題を読み取ってまとめることができるようになります。</li> </ul>	
11	3. わたしたちの生活と工業生産 暮らしを支える工業生産 自動車をつくる工業 工業生産を支える輸送と貿易	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の工業生産や工業地域の様子を知り、その現状や特色について考えたことを作品にまとめることができるようになります。</li> <li>自動車工業に従事している人々の工夫や努力、自動車生産を支える貿易や運輸について調べ、工業生産が国民生活や産業を支える重要な役割を果たしていることを考えられるようにします。</li> </ul>	
12	これからの工業生産とわたしたち 4. 情報化した社会と産業の発展 情報産業とわたしたちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の工業生産は、中小工場がもつ専門的な高い技術や全国各地のものづくりの伝統、運輸の働きなどに支えられていることを理解するようにします。</li> <li>放送などの情報産業が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報産業を通じた情報の有効な活用が大切であることを理解するようにします。</li> </ul>	
1	情報を活かす産業 情報を生かすわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報化した社会の様子に関心をもち、どのような情報ネットワークを利用して、どのように活用していけばよいかを、資料やインターネットなどを活用し、調べ・まとめることができるようになります。</li> </ul>	<p><b>【学習の特色や工夫】</b></p> <p>資料収集の方法の一つとして、インターネットを使い広く情報を集めています。</p> <p>社会科見学を行い、実際に見聞したり、体験したりして学習内容の定着を図っています。</p> <p>見学できない事項は、ビデオ教材などを利用して理解を深めています。</p> <p>地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用して調べたり、調べたことを目的に応じた方法で表現したりする力を育てるようになっています。</p>
2			
3	5. わたしたちの生活と環境 自然災害を防ぐ わたしたちの生活と森林 環境を守るわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の森林資源の働きや、育成や保護の取り組みの様子を知り、森林資源とわたしたちの生活とのかかわりについて調べ、環境保全のため国民一人ひとりの協力が必要なことに気づくことができるようになります。</li> <li>産業の発展や都市化の進展により生じた環境汚染が、人々の健康や生活環境に重大な影響をもたらしたことを知り、それらの改善や保全のためには一人ひとりの協力が必要なことに気づくことができるようになります。</li> <li>我が国で近年起こった自然災害や、人々は自然災害をどのように防いでいるのかを知り、自分の考えをまとめることができます。</li> </ul>	

## 5年生「算数」

### 【第5学年の目標】

- (1) 整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### 【学習内容】

月	学習すること	学習のねらい
4	1. 整数と小数	○整数及び小数について、十進位取り記数法によって表されていることに着目し、計算などに有効に用いることができるようになります。
	2. 直方体や立方体の体積	○立体の体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算で求めることができますようにします。
5	3. 比例	○伴って変わる2つの数量の関係を表を用いて考察することを通して、比例について理解します。
	4. 小数のかけ算	○乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について理解し、それを用いることができるようにするとともに、小数の場合でも整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解します。
6	5. 小数のわり算	○除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方について理解します。
	6. 合同な図形	○図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形をかくことを通して、平面図形についての理解を深めていきます。
9	7. 図形の角	○三角形や四角形の内角の和について、図形の性質として見出し、それを用いて図形を調べたり構成したりすることができるようにします。
	8. 偶数と奇数、倍数と約数	○偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深めます。
10	9. 分数と小数、整数の関係	○分数の見方や表し方及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数についての理解を深めます。
	10. 分数のたし算とひき算	○分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようになります。
11	11. 平均	○平均の意味を理解し、それを用いることができますようにします。
	12. 単位量あたりの大きさ	○比べることの意味や比べ方、表し方を理解し、それを用いることができますようにします。
12	13. 四角形と三角形の面積	○平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式をつくり出してそれらの面積を計算で求めることができますようにします。
	14. 割合	○2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、その表し方についての百分率を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養う。
1	15. 百分率とグラフ	○資料における数量の比較や全体や部分の関係の考察などで割合を用いる場合があることや、その表し方についての百分率について理解するとともに、資料を円グラフや帯グラフを用いて表したりすることができるようにします。
	16. 変わり方調べ	
2	17. 正多角形と円周の長さ	○正多角形の意味や性質についての理解をするとともに、円周率の意味や直径、円周、円周率の関係について理解し、それを用いることができますようにします。
	16. 角柱と円柱	○観察や構成を通して、角柱、円柱の意味や性質について理解し、空間についての感覚を豊かにします。
3	★5年のふくしゅう	○5学年の学習内容の総復習

### 【評価について】

(1) 整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解している。また、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。

(2) 数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身に付けている。

(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆少人数指導やIT指導で学習を進めていきます。(算数科を中心として)
- ◆基礎基本が確実に身につくよう教科書だけでなく、ドリル学習や問題プリントを使った学習も進めていきます。
- ◆実際に測ったり調べたりする体験活動や具体的なものを使って調べる活動などをたくさん取り入れた学習を進めていきます。
- ◆既習事項を基にして自力解決の時間を設けます。また、自分の考えをノートにまとめたり、グループ、全体の中でお互いの考えを発表しあいます。

## 5 年生「理科」

### 【第 5 学年の目標】

- (1) 単元の学習内容について理解しているとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする
- (2) 単元の内容について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。
- (3) 単元の内容について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

月	学習すること(単元名)	学習のねらい
4	○ 雨がとどける春	アブラナを例にあげ、花のつくりについての理解を養います。
4	1 天気の変化	雲や天気の変化に着目して、雲の量や動きと天気の変化の規則性についての見方や考え方を養います。
4 ～ 6	2 植物の発芽や成長	植物を育て、発芽し成長する過程を、それと関係する条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、植物の発芽、成長とその条件についての見方や考え方を養います。
6 ～ 7	3 メダカのたんじょう	メダカの卵内での変化について、メダカを飼育して調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、動物の発生や成長、生命の連続性についての見方や考え方を養います。
7	○ 花のつくり	アサガオやヘチマの花のつくりに着目して、それらを比較して調べる活動を通して、花のつくりについての見方や考え方を養います。
7	○ 台風に備えて	台風が近づいてきたといの進み方や天気に着目して、それらを継続的に調べる活動を通して、台風の進路や台風が近づいた時の天気についての理解や見方や考え方を養います。
9	4 花から実へ	植物を育て、植物の結実の様子をそれらに関わる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性や植物の結実とその条件についての見方や考え方を養います。
9 ～ 10	5 ふりこ	振り子の動きについて、振り子の動きの規則性に関わる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、振り子の動きの規則性についての見方や考え方を養います。
10 ～ 11	6 流れる水と土地	地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、流れる水のはたらきと土地の変化との関係についての見方や考え方を養います。
11	川と災害	川による災害とその対策に目を向けながら調べ、流れる水のはたらきと土地の変化との関係についての見方や考え方を養います。
11 ～ 1	7 電流が生み出す力	電磁石の導線に電流を流し、電磁石の強さの変化をその要因と関係づけながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりしたりする活動を通して、電流のはたらきについての見方や考え方を養います。
1	8 人のたんじょう	人の母体内での成長について、人の誕生についての資料を活用したりして調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養います。
1	○ 受けつがれる生命	植物の発芽と成長、結実についての学習や、人やメダカの誕生についての学習を振り返る活動を通して生命の連続性についての見方や考え方を養うとともに、生命を尊重する態度を育てます。
1 ～ 3	9 もののとけ方	物を水に溶かし、水の温度や量による溶ける限度の違いや、溶けた物の取り出し方、物を水に溶かす前後の全体の質量などを調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、物の溶け方とその規則性についての見方や考え方を養います。

### 【評価について】

- (1) 自然の事物・現象についての性質や規則性などについて理解しているとともに、観察・実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
- (2) 自然の事物・現象について、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、観察、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、それらを表現するなどして問題解決している。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているとともに、なまんだことを学習や生活に活かそうとしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆インゲンマメ、メダカ育てたり、世話をしたりします。根気と生き物の命を大切にすることを育てます。
- ◆自然の事からの違いに気づき、比較して学習を進めていくために、ノートや観察記録がポイントとなります。条件制御や記録を残すことが大切な要素となります。
- ◆電磁石の単元では、電磁石を作りながら、学習を進めていきます。作り上げる喜びを感じながら、実感をもった理解ができるようにします。

## 5年生 「音楽」

### 【第5学年の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いあるものにしようとする態度を養う。

月	学習すること	学 習 の ね ら い
4	1 歌声をひびかせて心をつなげよう	○音色、旋律、強弱などと曲想との関わりを理解して、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けます。
5 6	2 音の重なりを感じ取ろう	○旋律、音の重なり、音階や調などと曲想の関わりを理解して音や声を合わせて表現します。
7	3 いろいろな音色を感じ取ろう	○各声部の楽器の音色や楽器の重なり合う響きに気を付けて演奏したり、打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして音楽を作ります。
9	4 和音の移り変わりを感知取ろう 音楽会に向けて	○旋律、I、IV、V、V <sub>7</sub> の和音の響き、調や音の重なりなどと曲想との関わりを理解し、表現する技能を身に付けます。
10 ～	5 曲調の変化を感じ取ろう	○曲想と音色、リズム、旋律、強弱や歌詞の内容などとの関わりを理解して、呼吸や発音の仕方に気を付けて、表現する技能を身に付けます。 ○いろいろな楽器に親しんで音楽会練習をします。
11	6 詩と音楽の関わりを味わおう	○歌詞の表す情景を思い浮かべながら言葉や歌詞、旋律のまとまりを生かした歌い方を工夫して歌います。
12	7 日本の音楽に親しもう	○日本の旋律の特徴に合った歌い方や日本の音階を用いてまとまりのある音楽を作ります。
1 2～ 3	8 思いを表現に生かそう	○楽器の重なり合う響き、曲の山、旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりを考え、表情豊かに伝えるための技能を身に付けます。

### 【評価について】

- (1) 音楽のよさや美しさを理解して表現したり、音楽づくりをしたりしている。
- (2) ひびきのある声で歌ったり、曲想の特徴を理解して演奏する技能を身に付けている。
- (3) 音楽に主体的に関わり、音楽活動を楽しみながら表現したり、音楽を構成する要素を理解して聴いたりしている。

### 【学習の特色と言語活動の充実を図る工夫】

- ◆音楽の構成を理解して表現することを楽しみます。
- ◆伴奏に合わせて歌ったり、曲想の特徴をとらえて演奏したり歌詞の情景を思い浮かべながら歌ったりします。
- ◆友だちと互いに聴き合いながら曲のよさを見つけ、表現を考えます。

## 5年生 「図画工作」

### 【第5学年の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

月	学習すること	学習のねらい
4	季節を感じて	○自然の風景だけでなく、身近にあるものや生活の中での出来事などで季節を感じたものやことを見つけて絵に表すようにします。
	みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」	○粘土のねじり方やひねり方の違いから生まれる動きやバランスをいろいろと試しながら、自分が表したい形を積極的に工夫して表します。
6	形を集めて (形と色でショートチャレンジ)	○身近にあるものの形に着目し、集めたり並べたりすることから、形の大きさや重なり方を工夫して形や色の動きやバランスをとらえて表します。
	糸のこの寄り道散歩	○電動糸のこぎりの特性を十分に生かし、曲線切りなど切り方を工夫するとともに、できた形をいろいろと組み合わせることを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識ながら表している。
7	同じもの、たくさん	○材料や場所の特徴を生かしてその組み合わせから発想し、造形的なイメージを広げていくことからどのように活動するか考えます。
9	動きの不思議	○積極的に体を動かしてみたりいろいろなポーズをとってみたりすることから、人体の形や動きをとらえて表す工夫につなげて表現していきます。
	わたしのおすすめ	○自分が生活する地域のよさに目を向け、造形的な表現を通して積極的に伝えることから生活をよりよく豊かなものにしていくように表現していきます。
10	見つけて！ワイヤードリーム (選択)	○用具を巧みに使いながら針金の形を思いのままに変化させたり、できた形を組み合わせたりしながら表し方を工夫していきます。
	コロがるくんの旅 (選択)	○互いのアイディアを出し合いながら、つくり遊ぶことを繰り返すことから創造的に活動していきます。
11	あったらいい町、どんな町	○町にあるものや出来事を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした町をどのように表していくのか考えて絵に表していきます。
12	地球は大きなキャンパスだ	○身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動していきます。
1	比べてみよう	○「作品をよく見て比べ、形や色など感じたことを味わったり話し合ったりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」
	進め！ ローラー大ぼうけん	○ローラーの特徴を生かして表し方を工夫しながら、絵に表していきます。
2	色を重ねて広がる形 (選択)	○彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版の技法で版に表していきます。
	だんボールで、試して、つくって (選択)	○段ボールと十分に関わり、いろいろ試して発見したことを生かして、表現したいものやことを思いついて表すようにします。
3	Myキャラが動き出 (選択)	○紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力して簡単なアニメーションをつくったのを楽しみます。
	そっと見てね、ひみつの色 (選択)	○箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わったり話し合ったりする。

### 【評価について】

- (1) 造形的な視点について自分の感覚を通して理解するとともに、手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方について考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を深める。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようという態度を養う。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆子どもの思いを大切に、表現することを楽しみます。
- ◆身近素材を使っていろいろな方法で作品をつくります。
- ◆自分の作品のよさや友だちの作品のよさを見つけ、鑑賞します。

## 第5学年「家庭」

### 1 目標

<b>【家庭科の目標】</b>	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々とのかかわりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>
-----------------	--

### 2 学習内容

月	学習すること	学習のねらい
4	<p><b>これまでの学習を生活につなげよう</b></p> <p><b>1 家族の生活再発見</b></p> <p>①家族の生活を見つめよう ②生活を支える家庭の仕事</p>	<p>◎家庭科を学ぶ意義や2年間の学習の見通しがわかり、目指す自分の姿をイメージし、目標をもつことで家庭科学習への意欲を高めるようにします。</p> <p>◎これまでの自分の生活が家族に支えられてきたことに気づき、生活を支える家族の仕事はさまざまあり、家族の協力が必要ながわかるようにします。</p>
5	<p><b>2 クッキング はじめの一步</b></p> <p>①なぜ調理をするのだから ②ゆでて食べよう ③工夫しておいしい料理にしよう</p>	<p>◎調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方がわかるようにします。</p> <p>◎青菜やじゃがいものゆで方がわかり、ゆでることができるようにします。</p> <p>◎必要な材料や手順を考えゆで野菜サラダの計画を立てることができるようにします。</p> <p>◎調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができるようにします。</p>
6	<p><b>3 ソーイング はじめの一步</b></p> <p>①なぜぬうのだから ②どのような用具や方法でぬうのだから ③手ぬいを生活に生かそう</p>	<p>◎手縫いに関心をもち、なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどやボタンつけができるようにします。</p> <p>◎製作に必要な用具について知り、作品の形や縫い方を工夫して小物の製作ができるようにします。</p>
7	<p><b>4 整理・整とんで快適に</b></p> <p>①なぜ整理・整とんをするのだから ②どのような整理・整とんができるのだから ③物の使い方を工夫しよう</p> <p><b>5 できるよ、家庭の仕事</b></p> <p>①自分にできる仕事を見つけよう ②工夫して仕事をしよう ③実行し、続けよう <b>チャレンジコーナー</b></p>	<p>◎身の回りの整理・整頓に関心をもち、気持ちよく過ごそうとすることができるようにします。</p> <p>◎整理・整頓の仕方がわかり、工夫できるようにします。</p> <p>◎ごみの始末や不用品の活用の仕方を工夫し、環境を考えた生活の仕方がわかるようにします。</p> <p>◎家庭生活に関心をもち、家族の一員として、協力して仕事を分担したり、協力したりすることができるようにします。</p>



9 10	<b>6 ミシンでソーイング</b> ①なぜミシンでぬうのだろう ②ミシンの使い方を知ろう ③ミシンを使って作ってみよう	◎ミシンに関心を持ち、安全に操作し、直線縫いができるようにします。 ◎布に関心を持ち、製作計画を立てて製作し、生活に生かせるようにします。
11 12	<b>7 食べて元気に</b> ①なぜ毎日食事をするのだろう ②ご飯とみそしるは食事の基本 ③日常の食事に生かそう  チャレンジコーナー	◎給食や日常の食生活を通して、食事の役割を考え、食事の大切が分かるようにします。 ◎五大栄養素と食品の体内での働きが分かるようにします。 ◎栄養バランスのよい食事のとり方が分かるようにします。 ◎米の特徴やおいしい米飯の炊き方が分かり、ご飯を炊けるようにします。 ◎みそ汁の実の調理手順を考え、調理することができるようにします。
1	<b>8 生活を支えるお金と物</b> ①何にお金を使っているのだろう ②よりよい買い物の仕方を考えよう ③買い物の仕方を工夫しよう	◎物や金銭の使い方に関心を持ち、適切に買い物をしようとする意欲をもたせます。 ◎目的にあった物の選び方や買い方ができるようにします。
2	<b>9 暖かく快適に過ごす着方</b> ①どのような着方が暖かいだろう ②衣服の働きを知ろう ③衣服の着方を工夫しよう	◎衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づけるようにします。 ◎衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解できるようにします。
	<b>10 暖かく快適に過ごす住まい方</b> ①寒い日はどのように過ごしているだろう ②暖かく快適な住まい方 ③快適さアップを工夫しよう	◎寒い季節の快適な住まい方がわかり、暖かい住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための方法を考えることができるようにします。 ◎自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践できるようにします。
3	<b>11 いっしょにほっとタイム</b> ①ほっとするのはどのようなときだろう ②周囲の人との関わりを考えよう ③団らんでつながりを深めよう  チャレンジコーナー	◎家族とのふれ合いや団らんに関心を持ち、その大切さが分かるようにします。 ◎団らんを楽しくすることについて考えたり、工夫したりすることができるようにします。  ◎5年生の学習を振り返り、自分でできるようになったことを確認し、よりよい家庭生活を目指し、自分の生活が環境とかかわっていることが理解できるようにします。 ◎学習したことを家庭生活に生かせるようにします。

### 3 評価について

家庭科では、次の3つの観点から子どもの学習の様子を評価します。

- |  |
|--|
| <p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見だして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々とのかかわりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p> |
|--|

### 4 学習の特色と言語活動の充実を図る工夫

- |  |
|--|
| <p>(1) 生活的な自立能力を身に付け、生活に主体的にかかわろうとする態度を育てるため、調べ学習や試行学習などを多く取り入れるとともに、実際の・具体的な学習を重視し基礎・基本の定着を図っていきます。</p> <p>(2) 家族や家庭生活を見直す中で課題を見つけ、家族の一員としての自覚や生活に関わろうとする態度が育つようにします。</p> |
|--|

## 5年生「体育」

### 【第5学年の目標】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

学期	学習すること	学 習 の ね ら い
1	マット運動	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をする
	鉄棒運動	支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。
	短距離走・リレー	切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。
	表現	いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。
	保健	けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。
	水泳	クロール、平泳ぎなどの行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。
	フォークダンス	日本の民踊ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。
2	跳び箱運動	切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。
	短距離走・リレー	切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。
	タグラグビー	ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。
	体力を高める運動	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をする
	体ほぐしの運動	手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりする
	ハードル走	ハードルをリズムカルに走り越えること。
3	短縄・長縄	短なわや長なわを用いていろいろな跳び方をしたり、なわ跳びをしながらボールを操作したりするなどして巧みな動きを高めること。
	走り高跳び	リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。
	保健	交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。
	バスケットボール	ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。

### 【評価について】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにしたか。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養えたか。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養えたか。

### 【学習の特色や工夫】

#### ○ 1時間の授業の行い方

- ① あいさつ、健康観察・・・・・・・・・・元気よくあいさつします。心と体の状態を確認します。
- ② 準備運動、慣れの運動・・・・・・・・・・筋肉や関節の可動範囲や呼吸循環器の機能を高めます。
- ③ 主運動・・・・・・・・・・それぞれのめあてにむかい運動します。
- ④ 学習のまとめ・・・・・・・・・・自己評価や相互評価を行い、学習の成果を確認します。
- ⑤ 後片付け、整理運動、あいさつ・・・・協力して安全に片付けます。軽い運動で緊張をほぐします。

○今日の授業での自分のめあてをもたせて課題を解決する学習を進めます。(めあて学習)

○5年生の重点教材・・・・・・・・・・ハードル走、鉄棒運動、クロール、バスケットボール、

## 5年生「道徳」

### 【第5学年の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

月	教材名	ねらい
4	人生という教科	社会生活を営む上で、自由と責任について深く考え、自律的な生活を送ることの意義を理解し、尊重する態度を養う。
	ぬぎすてられたくつ	毎日を充実して過ごすためには、健全な生活習慣を守ることが大事であることを知り、節度ある生活を送ろうという心情を育てる。
5	もったいない	自然破壊や環境保全の問題と自分との関わりを理解すると共に、自然との共存について考えを深め、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。
	ぼくがいるよ	家族の中での自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合っ て、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。
	世界に羽ばたく「航平ノート」	自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成には何が必要かを考え、自己評価しながら、 困難や失敗にくじけずに努力しようという心情を育てる。
	わたしはひろがる	よりよく生きようとする人間のよさに気づき、人間として生きる喜びを感じることのできる生き方 をしようとする心情を育てる。
6	いじめをなくすために	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、 公平な態度で接しようとする態度を養う。
	電池が切れるまで	「死は悲しみだけを残すものでなく、より強く生きていく力を与えてくれるもの」という考え方に 理解を深め、自分に与えられた命を精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。
	落とし物	相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて考え、思いやりの心を持ち、温かく親切に接しよ うとする心情を育てる。
	言葉のおくりもの	日常生活の中で、男女関係なく互いの立場や意見を尊重することで友情を深め、よさを認め、信頼 し合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。
7	ミッキーマウスの誕生	自分の目標をもって、くじけず努力し自分を向上させることの大切さについて考え、より高い目標 を立て、信じたことに希望をもってくじけずに努力しようとする心情を育てる。
	復興への願い フェニックス	自分が住む町や地域を思い、今の自分にできることをしようとする態度を養う。
9	うばわれた自由	社会生活を営む上で、自由に行動することと、規則を守りながら自律的な生活を送ることの意義を 理解し、尊重する態度を養う。
	植物とともに 牧野富太郎	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする意欲を高める。
	どろだらけのユニフォーム	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。
	手品師	誠実に生きることのよさについて理解し、明るい心で誠実に生活しようとする心情を育てる。
10	もう一つの塔	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を 受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。
	友のしょう像画	友情について考えることから、どんなときでも互いに信頼することが大切であり、多様な表現で友 達関係を深めようとする実践意欲を高める。
	母とながめた一番星	自分の生命が多くの支えやつながりの中で守られている尊い生命であることを理解し、自分だけで なくすべての生命を大切にしていこうとする心情を育てる。
	太平洋のかけ橋 新渡戸稲造	日本と世界との文化交流に尽力した先人の生き方から学ぶことを通して、他国の人々や文化につい て理解し、国際親善に努めようとする心情を育てる。
11	UDって何だろう	年齢や性別、障害のあるなし、国籍などに関係なく、誰もが使いやすいように工夫する考え方につ いて理解を深め、相手の立場に立って親切に行動しようとする態度を養う
	森の絵	身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする態度を養う。

	おじいさんのあたたかな目	日々の生活が多くの人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。
	フジの新しいおびれ	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。
12	日本の「まんがの神様」	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所をさらに伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一側面であることに気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。
	心の中のリゅう	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を養う。
	銀のしょく台	謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。
1	くずれ落ちただんボール箱	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。
	アップするの？	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。
	この思いをフェルトペんにたくして	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気付き、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。
2	二十分間の出来事	生命を救い守り抜こうとする人間の尊さについて考え、かけがえのない命を尊重しようとする態度を養う。
	お客様	自分もつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。
	すれちがい	相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、相手の立場に立って考え、広い心で接しようとする態度を養う。
3	ペルーは泣いている	世界の人々との交流を深め、親善に努めると共に、それぞれの国の文化や伝統を認め合いながら、互いに尊重し合い助け合おうとする心情を育てる。
	アルソミトラの空	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。

#### 【評価について】

- ◆内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではないので、道徳においての数値の評価はしません。道徳の時間での発言、グループでの話し合いの様子、ワークシートやノートへの記入、役割演技、自己評価、相互評価などから、記述による評価としています。

#### 【学習の特色や工夫】

- ◆道徳の授業は主に

- A 自分自身について（生活習慣・善悪の判断・誠実・勤勉・努力・責任・個性伸長など）
- B 人とのかかわり（礼儀・思いやり・感謝・友情・信頼・相互理解・寛容など）
- C 集団や社会とのかかわり（規則・公正公平・正義・家族愛・集団生活・伝統文化・国際理解など）
- D 命や自然・崇高なもののかかわり（生命の尊さ・自然愛護など）

といった4つの内容項目に分類されています。

道徳の学びは学校の授業の時間だけではなく、家族で過ごす時間、また動植物と触れ合う機会もあると思います。小さな命も大切にすることや、公共のマナー・きまりはなぜあるのかなど、さまざまな体験を通して、ご家庭でも話し合っていると、今後の道徳の授業へと繋がっていくことでしょう。

授業では、場面絵や大型画面を使用して、児童の興味関心を深めたり、登場人物の心情を考えたりします。最後に自分のこととして、自己の生き方との関わりで考え、振り返りをします。また小グループでの話し合いや、ワークシートを使用したりして、自分の考えを深める工夫をしています。

## 5年生「英語」

### 【第5学年の目標】

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

月	学習すること	主な学習のねらい
4	L1 Nice to meet you.	○アルファベット（活字体）の大文字で自分の名前を書くことができる。名前や好きなものを含めて自己紹介をすることができる。 ○季節や誕生日をたずねたり答えたりする言い方を理解することができる。また、大文字の形の特徴や違いに気づく。 ○曜日、教科や職業の言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴や違いに気づく。 ○自分や家族の「できること、できないこと」の言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴や違いに気づく。 ★復習
5	L2 When is your birthday?	
6		
7	L3 What do you have on Mondays?  L4 Can you do this?  ★パーティーを楽しもう	
8	L5 Where is your treasure?	○建物や物がある場所、道案内の言い方を理解することができる。また、単語を書き写すことができる。 ○あこがれの人を紹介する言い方を理解することができる。また、大文字と小文字のルールを理解することができる。 ○世界のお正月の様子を理解することができる。また、対応する大文字と小文字を書いたり、音と小文字を結びつけたりすることができる。
9	L6 My Hero	
10		
11	L7 Happy New Year	
12		
1	L8 What would you like?	○食べ物や飲み物の言い方、値段や欲しいものをたずねたり答えたりする言い方を理解することができる。また、絵や音と結びつけながら単語を読むことができる。
2		
3	L9 I love my town.  ★自分のことを伝えよう。	○名産品や「自分の町紹介」の言い方を理解することができる。 ★復習

### 【評価について】

- 知識・技能
  - 思考力・判断力・表現力
  - 主体的に学習に取り組む態度
- 以上の3つの観点で評価します。リスニングテストやインタビューテストなどを行います。

### 【学習の特色や工夫】

- ・「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」の学習が本格的に始まります。音声で十分親しんだ語句や表現を読んだり、書き写したりしながら、英語を書くことに慣れ、英語の音への認識を深めます。

### 【保護者のみなさんへ】

- ・アルファベットを確実に書くことができるよう、声掛けをお願いします。
- ・普段から町中にある看板や案内の英語に触れ、授業で学習した表現を使って、親子で簡単な英語を楽しむ時間をもつことで、より深い学びにつながっていきます。
- ・英語は大切なコミュニケーションの手段の1つです。日常生活の中で、お子様との会話の際、相手の顔や目を見て話をする姿勢、聞く姿勢を意識してみてください。

## 5年生「総合的な学習の時間」

### 【第5学年の目標】

- (1) 馬室っ子水田で自然環境を生かした米作りの体験を通して、問題を解決する資質や能力を身に付けられるようにする。
- (2) 水田から収穫された米、わら、もみ、ぬかを使って生活に生かせる物を考え、実際に作る、食べる、使うことの体験を通して問題を解決する能力を身に付けられるようにする。
- (3) インターネットから必要な情報を収集し、林間学校や社会科見学のしおりを作ることができるようにする。
- (4) 高齢者福祉について調べたり、高齢者体験を行ったりすることを通して、みんなが住みよい社会について考えることができるようにする。

### 学習内容

月	学習すること	学習のねらい
4	米作りに挑戦 (予想される活動例) ・農薬・稲作の歴史 ・田の生き物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬室っ子水田で自然環境を生かした米作りの体験を通して、問題を解決する資質や能力を育てます。</li> <li>・調べ方、情報の集め方、まとめ方、表現の仕方などを身に付け、問題解決にむけての主体的、創造的な態度を育成します。</li> <li>・馬室っ子水田から収穫された米、わら、もみ、ぬかを使って生活に生かせる物を考え、実際に作り、食べる、使うことの体験を通して問題を解決する能力を育てます。</li> <li>・物を作るための情報の集め方、作り方、まとめ方、表現の仕方などを身に付け、問題解決に向けての主体的、創造的な態度を育成します。</li> <li>・林間学校に向けて、自主的に調べたり、用意をしたりすることができるようにします。</li> <li>・楽しい林間学校になるように、創意工夫を生かした計画を立てることができるようにします。</li> </ul>
5	・農機具・稲の種類 ○種まき ○田の肥料まき ○田植え ○稲刈り	
6	林間学校について	
7	調べよう	
8		
9	○米飯実習 ご飯・みそ汁作り	
10	社会科見学の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学する工場について調べ社会科見学への興味・関心を高めるとともに、発表会をすることで更に見聞を広げられるようにする。</li> <li>・高齢者体験を通して、自分にできることを見つけ出し、相手のために主体的に関わっていこうとする態度を育成します。</li> </ul>
11		
↓ 3	高齢者と共に生きる	

### 【評価について】

- (1) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。
- (2) 生活の中から問いを見だし、課題を立て、情報を整理・分析して、表現している。
- (3) 主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

### 【学習の特色や工夫】

- ◆自然・人・地域の中で、豊かな体験や活動を通して、思いや願いを大切にした児童主体の学習活動を展開することにより、課題解決力、表現力、豊かな人間性などの生きる力を育成します。
- ◆福祉や国際理解、コンピュータリテラシーに関する学習も、総合的な学習の時間の中で指導計画を立て、実施しています。

# 5年生「学級活動」

## 1 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

学級活動 (1)	学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 ウ 学校における多様な集団の生活の向上	イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
学級活動 (2)	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
学級活動 (3)	一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

2 学級を単位として信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行います。

月	(1) 学級や学校の生活づくりへの参画【24時間】	(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)(3)は合わせて12時間】	短時間で指導する題材
	予想される議題、活動	1単位時間	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会のテーマを話し合おう</li> <li>クラスの目標を話し合おう</li> <li>クラスが盛り上がる係を考えよう</li> <li>バスケットボール選手を励まそう</li> <li>クラスの歌を作ろう</li> <li>運動会のテーマを考えよう</li> <li>高学年らしい雨の日の遊び方を考えよう</li> <li>林間学校のテーマを考えよう</li> </ul>	(3)ア 高学年になって	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ活動に楽しく参加しよう</li> <li>委員会活動の仕事</li> </ul>
5		(2)ウ 自転車の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の取り組み方</li> <li>男の子の長所女の子の長所</li> <li>グループの協力(縦割り班)</li> </ul>
6		(3)ア運動会を成功させよう (2)ウ あなたの歯肉は大丈夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日も楽しく遊ぼう</li> <li>プールでの約束</li> </ul>
7		(2)ア 楽しい林間学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの過ごし方</li> <li>整理整頓をしよう</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動をもっと楽しくしよう</li> <li>クラスのシンボルマークを考えよう</li> <li>係のお祭りを開こう</li> <li>もっと良いクラスにするための工夫を考えよう</li> <li>2学期がんばったね会をしよう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の目標</li> <li>地震時の避難の仕方</li> </ul>
10		(3)ウ 「マイブック」私の好きな一冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>目の健康</li> <li>社会科見学の約束</li> </ul>
11		(3)ウ進んで家庭学習をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康によい食事の取り方</li> </ul>
12		(3)ア 冬休みの過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の衣服と健康生活</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期の係を考えよう</li> <li>学年スポーツ大会を開こう</li> <li>6年生を送る会を成功させよう</li> <li>学級目標を反省しよう</li> <li>学級お別れ会をしよう</li> </ul>	(2)ウ薬物について考えよう 【薬物乱用防止教室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期のめあてをたてよう</li> <li>金銭は計画的に使おう</li> </ul>
2		(2)ウ 正しく判断する力 ～性情報と私たち～ 【性教育】	<ul style="list-style-type: none"> <li>うがい手洗いをしよう</li> <li>不審者から身を守ろう</li> </ul>
3		(3)ア もうすぐ6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>春休みの過ごし方</li> <li>教室をきれいに</li> <li>卒業式の参加の仕方</li> </ul>

3 学級活動では、(1)、(2)、(3)それぞれ次の3つ観点から子どもの学習の様子を評価します。

学級活動 (1) 「学級や学校の生活づくりへの参画」	
[1]	学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。
[2]	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。
[3]	みんなで学級生活を楽しくすることの大切や、学級集団としての意見をまとめる話し合活動の基本的な進め方などについて理解している。
学級活動 (2) (3) 「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、「一人一人のキャリア形成と自己実現」	
[1]	自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。
[2]	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。
[3]	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

#### 4 学習の特色や工夫

- [1] 学級活動(1)では、予想される議題・題材を紹介しており原則としては、学年、学級で計画を立てたり、児童と一緒に計画(児童からの議題を取り上げて)を立てたりしながら活動していきます。
- [2] 実践したことや体験したことを自分の言葉でまとめ、発表し合ったり、報告文や記録文に表したりします。